

活動事例 1

・農地法面の石積の積み直し
(島根県吉賀町：真田地区資源保全組合)



活動事例 2

・学校や他団体と連携した農作業体験
(鳥取県琴浦町：出上農地・水保全活動組織)





つなぐ棚田遺産選定

全国から推薦いただいた
271の棚田が
「つなぐ棚田遺産
~ふるさとの誇りを未来へ~」
に選定されました。

人と自然がつくりだす
この美しい棚田を未来へ
つないでいきましょう。

中国四国管内：51棚田（37市町）



夢のある米作り・酒造りで伝えようヨズクハデのある棚田の風景

未来へつなぐ
部門特別
感謝状

若林酒造 株式会社

取組年数 16年

関連棚田 西田ヨズクの里(島根県大田市)

指定
棚田地域つなぐ
棚田遺産日本の
棚田百選HPは
こちらから

酒米「亀の尾」



保存会との記念撮影

きっかけ

平成18年、石見銀山遺跡の世界遺産登録を控え、西田地区において銀山街道とヨズクハデのある棚田の景観保全に向けた地域の機運が高まっていたこと。

取組内容

自主的に結集した会員同士が農業体験を通じて時間を共有し合い、地域の自然、歴史や文化に触れながら都市交流を深め、地域・人づくりへの活動を行っている。

県の推薦理由

西田地区との連携を契機とした会員数の増加は棚田地域の活性化とヨズクハデの保存に大きく貢献していること、また将来に渡る取組みの継続が期待されることから、県として推薦を行う。

喜びの声

この度は特別感謝状を賜りありがとうございます。西田地区での活動も19年目、石見銀山街道の棚田景観の保全活動は地域をはじめ、賛同する会員、社員との交流により育まれてきました。この受賞を機に益々励んで参ります。



棚田地域からの感謝の言葉

この度の感謝状の授与、大変おめでとうございます。また、平成18年からの若林酒造を中心とする、「酒仙蔵人 五郎の会」の皆さんとの農業体験交流を通じた活性化の取組みにより、集落の維持に繋がっていることに感謝しています。今後も恵みの季節の風物詩となる「ヨズクハデ」のある棚田の景観を後世につなげたく、多くの皆様のご協力をお願いします。

西田ヨズクの里

棚田での研修及び子ども達の体験交流の活動サポート

山口大学 トムソーヤー(ズ) 山口県立大学 family

未来へつなぐ部門

取組年数 10年

関連棚田

中須の棚田(山口県周南市)

指定
棚田地域つなぐ
棚田遺産日本の
棚田百選HPは
こちらから山口大学
トムソーヤー(ズ)山口県立大学
family

中学生の課外活動での稲刈り・はぜかけ体験(活動支援・指導)



スキルアップセミナーでの草鞋ウォーク(大学生自身の研修)



研修での野菜の植え付け作業(植え付けから収穫まで)

きっかけ

以前から学生ボランティアとして参画している周南市大田原自然の家の事業「棚田ふれあいキャンプ」で、中須の棚田地域での子ども達のキャンプ事業を手伝ったこと。

取組内容

学生たち自ら研修活動の一環として棚田地域に入り、手作業での田植えや稲刈り、はぜ干しなどの農作業体験や棚田でのキャンプを通じて、地域住民・大学生間での親睦を深めたり、関係作りを積極的に行っている。

県の推薦理由

大学卒業後も県外から当地区に來訪するなど関係人口の創出に寄与している。棚田環境の保全のみならず地域の活性化への取り組みを活発に行っており、他の模範となると判断されることから推薦する。

喜びの声

主に「周南市 大田原自然の家」で、自然の中で子供たちと一緒にキャンプをしたり、1日行事を行ったりしています。その企画・運営に携わる機会もあります。中須北地区では、田植えや稲刈りの時期を中心にお手伝いさせていただいています。



棚田地域とよりそう人材育成

学校法人 **四国大学**

未来へつなぐ部門

取組年数 **13年**関連棚田 **檜原の棚田(徳島県勝浦郡上勝町)**

徳島市

指定
棚田地域つなぐ
棚田遺産日本の
棚田百選HPは
こちらから

畦の修繕作業



古民家の修繕活動



草刈り、水路の補

きっかけ

徳島県が「社会貢献に積極的な“企業・大学等(協働パートナー)”と「応援を求める“農山漁村”の間を取り持ち、農作業や地域の活性化活動の協働を推進したことがきっかけ。

取組内容

①棚田地域の住民が実施する鳥獣被害防止ネット張り、草刈り、棚田の修繕等保全活動へのボランティア参加 ②棚田地域の活性化に向けたワークショップへの参加・地域への地域活性化アイデアの提案。

県の推薦理由

県内の複数の棚田で長年、幅広く保全活動等を行っており、棚田地域の維持・保全・振興等に貢献し、顕著な功績があると認められるため。

喜びの声

この度は、県内の棚田でボランティア活動をする場に、教職員、OB、現役学生等が継続的に参加してきたことに対して、評価をいただきました。このことは、望外の喜びであるとも今後に向けての励みとなります。ありがとうございます。



棚田が広がる風景の中で、自然とアート、建築が調和した環境をつくる

公益財団法人 福武財団

未来へつなぐ部門

取組年数 14年

関連棚田 唐櫃の棚田(香川県小豆郡土庄町)

指定
棚田地域つなぐ
棚田遺産日本の
棚田百選HPは
こちらから

田植えイベント



収穫祭



耕作放棄地を伐開

きっかけ

2009年4月、瀬戸内国際芸術祭の開催を契機に豊島「食プロジェクト」推進協議会が発足されたことがきっかけ。

取組内容

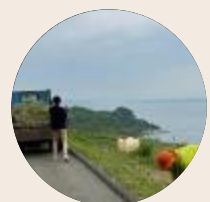
①棚田の再生 ②復活した棚田での農作物の栽培と景観の維持管理 ③棚田イベントの実施。

県の推薦理由

取組年数が長く、地元保全団体や町と一緒にあって地域の棚田や里山を再生・保全するための熱心な取組みを行っており、棚田保全に対する熱意ある姿勢や功績が、県内でも極めて顕著であるため。

喜びの声

土庄町をはじめ関係者の方々と共に取り組んできたプロジェクトを評価いただき大変嬉しく思います。今後も皆様との繋がりを大切にし、豊島美術館と一体となった棚田の魅力を発信してまいります。この度は誠にありがとうございました。



人から人へ未来につなげる本山町

一般財団法人 **本山町農業公社**

未来へつなぐ部門

取組年数 **29年**

関連棚田 本山町の棚田、吉野村の棚田(高知県本山町)

指定
棚田地域つなぐ
棚田遺産日本の
棚田百選HPは
こちらから

ブランド米の生産



田んぼアート



FOODEX JAPAN

きっかけ

平成6年に農林業を中心とした地域づくりを目指して「本山町農業公社」を立ち上げたことがきっかけ。

取組内容

農林業を中心とした地域づくりを進めるため、本山町の有する豊かな地域資源を活用した特産物の開発及び販売促進事業、農林作業の受委託事業、農地の有効利用と幅広い地域振興施策を実施。

県の推薦理由

土佐天空の郷米のブランド化や、加工品の開発、販路開拓、スマート農業の推進など地域への貢献度が非常に高く、農業者の所得向上にも繋がっている。将来展望できる農業の基盤を創り上げているため。

喜びの声

この度は感謝状を賜り厚くお礼申し上げます。当公社の地域農業を支える活動を高く評価いただき大変うれしく思います。今後も地域の方々と共に活動し、美しい棚田を未来へつないでいきたいと思っております。



つなぐ棚田遺産 ～ふるさとの誇りを未来へ～（ポスト棚田百選）の実施について

日本の棚田の多くは、長い歴史を有し、国民への食料供給にとどまらず、国土の保全、良好な景観の形成、伝統文化の継承等に大きな役割を果たしてきました。こうした多面的な機能を有する棚田について、その保全活動を推進すること等を目的として、農林水産省は、平成11年に、優れた棚田134地区を「日本の棚田百選」として認定しました。

認定から20年以上が経過している昨今、棚田地域では、担い手の減少や農家の高齢化等により従来のような保全活動が難しくなり、棚田の荒廃の危機に直面しています。

このような中、令和元年には、待望の棚田地域振興法が施行され、その趣旨に基づき、着実に、棚田地域の振興に向けた取組が広がっています。

そこで、農林水産省では、棚田地域の振興に関する取組を積極的に評価し、国民の皆さまに、棚田地域の活性化や棚田の有する多面的な機能に対するより一層のご理解とご協力をいただくことを目的として、改めて優良な棚田を認定する取組（「つなぐ棚田遺産～ふるさとの誇りを未来へ～（ポスト棚田百選）」）を実施いたします。

つなぐ棚田遺産オフィシャルサポーター制度について

農林水産省では、棚田地域の振興に関する取組を積極的に評価し、国民の皆さまに、棚田地域の活性化や棚田の有する多面的な機能に対するより一層のご理解とご協力をいただくことを目的として、改めて優良な棚田を認定する「つなぐ棚田遺産～ふるさとの誇りを未来へ～」を実施いたします。つきましては、本取組を、企業、団体等多様な関係者ととともに幅広く周知するとともに棚田地域の振興に資する取組を促進するため、つなぐ棚田遺産オフィシャルサポーター制度を創設します。なお、オフィシャルサポーターの取組については、ホームページで紹介させていただきます。

実施内容

サポーターとして活動する企業等は、次のいずれかの取組を通じて「つなぐ棚田遺産～ふるさとの誇りを未来へ～」に関する周知活動等を実施するものとします。

- ・ 企業等のWebページ、SNS、広報誌、ポスター等への情報掲載
- ・ 棚田に関する広報資料の配布・掲示、アナウンス等
- ・ 各種イベント、セミナー、学会、講座、研修棟での紹介
- ・ 企業のCSR活動やSDGsへの取組
- ・ その他、棚田の有する多面的機能や棚田地域の振興に関する取組について周知する活動等棚田地域の振興に資する取組

オフィシャルサポーターのご紹介

「つなぐ棚田遺産オフィシャルサポーター」は現在（令和5月11月17日）、次の企業・団体等の皆様にご協力・ご参画いただいております。



さとふる

株式会社さとふる

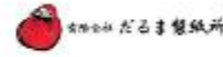


認定NPO 棚田ネットワーク



ココロメディアデザイン

株式会社ココロメディアデザイン



有限会社だるま製菓所



株式会社松和技研



不二総合
エンガルドア株式会社



一般財団法人日本グラウンドワーク協会



棚田学会



「小さな親切」運動静岡本部



有限会社フタバ化学



株式会社ビートル



富士総酒造株式会社



クラブトリズム株式会社



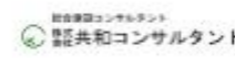
西条梅園株式会社



株式会社うめがくら



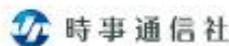
株式会社東海建設コンサルタント



株式会社共和コンサルタント



特定非営利活動法人
日本メディカルハーブ協会



株式会社時事通信社



アクセリア株式会社



株式会社日本農業新聞



株式会社十井組



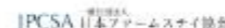
合創建設株式会社



グローバルデザインスクール株式会社



株式会社百錬錬匠



一般社団法人日本フームスタイ協会



株式会社Heart Full



株式会社スベックホルダー



株式会社阪急交通社 地域振興部



I-OTA合同会社
(旧当企業：株式会社エース)



日本航空株式会社



広島建設株式会社



一般社団法人地域環境資源センター



てしごとクラブ



東京山梨ロータリークラブ



株式会社日本旅行



タクサンフーズ株式会社



株式会社ブンカ



株式会社大井建設



株式会社プレナス



株式会社ヤマタネ